

代替

場で

新宿区が担当している。菅野処理区の汚水は将

きょうの紙面

業界 公告
C C I が造園出張授業
特支校の設備工事3件
別所下流整備工を室田
(県教育庁)
(利根川下流)

6 3 2

入落ナビは、
こちらから
QRコード



ベテラン41人が挑む

講習会 土質改良基幹技能者

JASRA



赤坂理事長

全国建設発生土リサイクル協会（JASRA）、東京都千代田区）は11月

来的に江戸川左岸流域下水道に編入し、県が建設中の江戸川第一終末処理場（市川市）で処理する。編入後、汚水処理施設は廃止するものの、雨水を排出するポンプ場として

の機能は維持する。ことし1月には、田中甲市長はじめ江戸川左岸流域の首長らが県庁を訪れ、江戸川第一終末処理場の早期整備を求める要望書を提出した。

では、33人が合格した。建設発生土の再生利用は、国土交通省でも重要課題とされており、より高い専門性を持った技術者が誇りをもって現場に立てるようにする狙いがある。

15日から2日間の日程で、「登録土質改良基幹技能者」の第2回講習会を開催した。この講習会の修了試験に合格すると、土質改良の登録基幹技能者として認められるとあって、とび・土工や土木工

事のベテラン職長ら41人が全国から集まった。12月中には合否が通知される。来年5月には第3回講習会を予定している。同講習会は本年度から始まった新制度で、初開催となった5月の講習会

「土を知り、土を生かす技術者の力が欠かせない」と制度の重要性を強調したうえで、「知識と技術を高め、社会に貢献する第一歩としてほしい」と参加者にあいさつした。

講習会は2日間で10時間にわたって実施した。土質改良の一般知識や関



登録土質改良基幹技能者講習会に全国から受講者が集まった

係法令、施工管理・計画、資材・品質管理、安全管理などを学び、最後に試験（60分間）を行った。

リニアアップシステムにおいては、最高位ゴールド（レベル4）の評価が得られる。

土質改良職は、盛土材や埋め戻し材、基礎地盤の性状改善作業を行う技能職。同協会は昨年8月に、国土交通省から「登録土質改良基幹技能者」講習の実施機関として登録

鎌ヶ谷軽井沢で福祉施設を新築

マルタカ

マルタカプランニング（鎌ヶ谷市）が鎌ヶ谷市軽井沢地区で、2階建て延べ361㎡のデイサービスセンターを新築する。設計は竹江設計事務所（同）が担当。工期として2026年7月〜27年7月を想定している。

建設予定地は鎌ヶ谷市軽井沢字落山1986番51ほか。敷地面積は658㎡。西白井駅の西約1・3kmに位置し、現在、「デイサービス軽井沢」を運営している。

され、技能者の認定に必要な講習会を開催できるようにになった。土質改良に精通した技能者を育成し、建設発生土の有効利用や安全の確保、生産性の向上を図ることを目的に「登録土質改良基幹技能者」制度がスタートした。